



園だより

第3号

令和2年9月1日
駿河台大学第一幼稚園
園長 田所 恒子

二学期のスタートにあたって

朝晩の虫の音に、暑さの中にも季節の移り変わりを感じるこの頃です。

いよいよ二学期がスタートしました。8月に史上最多の猛暑日が記録された今年は、9月以降も残暑が厳しいようです。新型コロナウイルス対策に加え、熱中症対策にも十分に心がけ、子どもたちが安心・安定して過ごせる安全な幼稚園を目指してまいります。

例年とは状況が大きく異なった今年の夏季休業日でしたが、いかがお過ごしでしたでしょうか。二学期のスタートにあたり、『なつのおもいで』を提出していただきます。担任は、『なつのおもいで』を参考に、ご家庭で夏季休業日をどの様にお過ごししてきたかを把握し、二学期の指導を進めます。幼稚園とご家庭が連携して子どもたちを育てていくためにとても重要です。

また、『なつのおもいで』は、自分の思いを言葉で表す、人の話を聞く、などの力を育む上でも重要な教材となります。年少児は、『なつのおもいで』を指さしながら、「あのね……」と大好きな先生に伝えることでしょう。気の合う友達が増えてきた年中児は「〇〇したんだよ」と経験を友達にも伝えようとしています。そして年長児になると学級の友達の前で発表したり、質問したりしながら共感したり、友達の経験から自分の世界を広げたりすることができるようになります。協同してものごとを行う上でとても大切な力となり、二学期の生活が豊かになります。

『なつのおもいで』の提出に、是非ご協力をお願いいたします。

さて、本園では、夏季休業中に二学期以降の教育に向けて、様々な園内環境の充実を図りました。昨年度、研究テーマを「子どもの『したい』『やりたい』を支える保育 - 環境構成の工夫 -」として園内研究を進め、子どもたちが主体的に遊ぶ環境を工夫してきました。その環境の一つに、積木があります。昨年度、年少組のウレタン積木を増量しましたが、今年度は、年中・年長組の中型・大型積木を購入し増量することにしました。9月中旬に届く予定です。積木が増えたことにより、自分も『したい』『やりたい』という気持ちを一層実現できたり、より複雑なものを作って楽しんだりすることができることでしょう。

また、業者が入り、駿河台ランドの滑り台（銀色の部分）やプールの塗装を行いました。教職員もタオル掛けやレインコート掛けのペンキ塗りをし、子どもたちが気持ちよく身の回りの始末ができるよう環境を整えました。

さらに、新型コロナウイルスによる休園以降、本園でも動画も含めたコドモンの配信や、パソコンやプロジェクター、実物大投影機を使った指導など、ICTの活用が増えてきました。保育室でWi-Fiが使用できるようにするとともに、遊戯室のスクリーンやプロジェクターを新たに購入しました。さらにICT化が進む時代を生きる子どもたちの大切な教育環境となります。

そして、今年度の園内研究の研究テーマ『進んで身体を動かすことを楽しむ幼児を育てる - 多様な動きに視点をあてて -』から、子どもたちが遊びの中で多様な動きを楽しめるように、新たな遊具も購入しました。多様な動きをどう導き、身体を動かす楽しさを味わえるようにしていけるかを探ってまいります。

新型コロナウイルス対応は、二学期もまだまだ重視していかねばなりません。多くの人が集まる運動会は感染予防に配慮し、今年は例年と異なる形で、園庭、赤広場などを使用して行います。新しい生活様式を踏まえながら、子どもたちの学びが実り多いものとなるよう工夫し、実現してまいります。

ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



新型コロナウイルス対策として保育室や遊戯室に空気清浄機を増設しました。(2台ずつ設置しています)



プールの塗装をしました。コロナの影響できれいになったプールで水遊びができないのがとても残念です。



『なつのおもいで』を先生に見せる年少児。身支度の時間も借しいほど伝えたいことがいっぱいです。



早速、新しい運動遊具を使って先生たちが教材研究をしました。全身を使ってバランスを取ったり、ケンパ飛びをしたりと、いろいろな動きを楽しめそうです。楽しみです。